

# リフレッシュキャンプ in MUROTO

## 1. 事業の概要

### ○ 事業の趣旨

様々な自然体験活動を通して、平成30年7月豪雨で被害にあった子供たちの心身のリフレッシュを図る。

### ○ 実施期間

第1回 平成30年8月18日(土)～平成30年8月20日(月) 2泊3日

第2回 平成30年8月20日(月)～平成30年8月22日(水) 2泊3日

### ○ 対象者・参加者数(人数/定員)

第1回 平成30年7月豪雨で被災にあった小学3年生～6年生 61名/80名

第2回 平成30年7月豪雨で被災にあった小学3年生～6年生 63名/80名

### ○ 活動プログラム

1日目	2日目	3日目
10:30 愛媛発	6:00 起床・身支度	6:00 起床・身支度・清掃
12:30 岡山発	7:15 朝のつどい	7:15 朝のつどい
16:45 入所	7:30 朝食	7:30 朝食
17:00 はじまりの会	9:00 バス移動(所バス)	8:45 退所点検
17:45 夕食	9:30 室戸ドelfインセンター・むろと廃校	9:00 流木クラフト
19:00 レクリエーション	水族館の見学(Aグループ)	11:00 ふりかえり
20:00 入浴	海水浴と海辺の生き物の観察(Bグループ)	アンケート記入
21:00 就寝準備	12:00 昼食(ジパ-センター)	11:30 昼食
21:45 就寝	13:30 海水浴と海辺の生き物の観察(Aグループ)	12:30 おわりの会
	室戸ドelfインセンター・むろと廃校	12:40 退所
	水族館の見学(Bグループ)	
	16:00 バス移動(所バス)	
	17:30 タベのつどい	
	17:45 夕食	
	19:00 夜のお散歩・星空観察	
	20:00 入浴	
	21:00 就寝準備	
	21:45 就寝	

※第2回目は荒天のため活動内容を一部変更し「海水浴と海辺の生き物の観察」の時間にキラメッセ室戸鯨館見学と3日目活動予定の流木クラフトを実施し、最終日は巨大手形アートの活動を行った。

## 2. 活動の様子

### <1日目>

岡山県と愛媛県で豪雨の被害にあった小学3～6年生を対象に参加者を募集し、全2回の開催で計124名が参加した。各地からのバスの車内では緊張した表情を見せる児童もいた。自然の家に到着し簡単な自己紹介、つどいの広間へ移動しての参加者、ボランティアリーダーを含めてのレクリエーションでは参加者もボランティアも笑顔がたくさん見えた。入浴後は、宿泊棟で新しく出会った友達と会話を楽しみ、移動の疲れもあり、みんなすぐに眠りについた。

## < 2日目 >

第1回は天候にも恵まれ、プログラム通りの活動を実施することができた。第2回は、荒天のため海水浴と海辺の生き物の観察を実施することができなかった。代替案として「海水浴と海辺の生き物の観察」の時間にキラメッセ室戸鯨館見学と3日目活動予定の流木クラフトを実施し、最終日は巨大手形アートの活動を行った。

室戸ドルフィンセンターでは、イルカとのふれあい体験を行った。水族館のようにガラス越しで見学するのではなく、手を伸ばして届く程度の非常に近い距離で、イルカの見せる表情やトレーナーの指示に合わせて動く様々なパフォーマンスを見学した。イルカ以外にも室戸の近海に生息するウミガメやサメなど様々な生き物を観察することもできた。



海水浴と海辺の生き物の観察では、ライフジャケットを着用し、自然の家のシーカヤック等の活動場所である「室戸岬新港」の漁港内で、海水浴と生き物観察を実施した。



泳いでいる目の前を色とりどりの魚たちが横切ったり、サンゴなど手に取ったりして、生き物観察を楽しんだ。

その他、廃校を建て替え校内を水族館として改修した「むろと廃校水族館」、室戸とクジラの歴史を鯨の骨格標本や伝統的な捕鯨船、デジタル資料などで見学することができる「キラメッセ室戸鯨館」も見学した。

施設へ帰ってからは、寄付でいただいたおやつを美味しくいただき、夜は室戸の星空と夜景を満喫し就寝した。

## < 3日目 >

第1回目参加者は、流木クラフトを、第2回参加者は巨大手形アートを行った。

流木クラフトは、室戸の海岸へ流れ着いた流木を3~5cmに細かく裁断したものを紙やすりで削り、オリジナルのキーホルダーとして形を整えていった。仕上げにオリーブオイルを全体になじませ丁寧に磨き上げ、自分や兄弟、家族へのお土産を作った。



巨大手形アートは、キャンプ最後の活動としてみんなとの思い出作りの1つとして行った。大きな画用紙をつなぎ合わせ1枚の巨大な紙を作り描かれた下絵に絵の具を塗った手で大胆に色を付け、最後に1つ1つをつなぎ合わせて1つの大きな作品を作り上げた。



すべての活動を終え、帰宅する子供たちの中には、3日間がとても思い出に残ったことだと思います。バス乗車時に「また会おうね」「寂しいね」など友達になった人たちと別れを惜しんで帰路につきました。

### 3. 事業の成果と課題

#### ○ 参加者の感想

- ・イルカとふれあった時にイルカが手を振ってくれたのがうれしかったです。海は思っていたよりも冷たくてびっくりしました。
- ・海や魚のことを知れたし、海に流れ着いた流木でのクラフトはとても記念になりました。
- ・どの活動も仲間たちと楽しくできる体験だったから、とっても楽しかったです。
- ・初対面の人が多くて不安だったけど、班の友達が声をかけて不安な気持ちを落ち着かせてくれたことがとてもうれしかったです。

#### ○ 保護者の感想

保護者からのお礼の電子メールより抜粋

##### 【第1回】

- ・このたびは、このような企画にお誘いいただきありがとうございました。帰るなり、ご飯のときもお風呂のときも寝るまでずっとキャンプの話でした。「布団の畳み方教えてあげる」「バディって知ってる？私のバディはゆいちゃんだよ」「ご飯おいしかった」「あと1日いたかったなあ」と。4年生のわりに甘えん坊で2泊3日大丈夫かなあと心配していましたが、心配いりませんでした。家を失い、自分の物がなくなっていました。支援物資でいただいた服から選び準備も自分でしました。今までの思い出の品々はなくなりましたが、今回の旅行の思い出はしっかりと心に残ってくれると思います。貴重な経験をさせていただき本当に感謝します。ありがとうございました。

##### 【第2回】

- ・19時すぎ、元気に帰って参りました。2泊3日、とても楽しかったようで話が止まりません(笑)海に入れなかったのは残念ですが、とてもよい体験をさせて頂いたと思っております。子供たちをいっぱい思い出とともに笑顔で帰宅させていただき、本当にありがとうございました。3日間、お世話になりました。